

日本軍（皇軍）等が中国人を強制連行

1937 年、日本は中国への全面的侵略を開始し、労働力が不足して戦争を続けることが困難となり、それを補うため、日本政府の命令で中国にいる日本軍等が「うさぎ狩り」とか「勞工狩り」という作戦で中国人男性を拉致した。

中国の港から石炭や鉱石を積んだ貨物船で日本本土に連行された中国人は、狭い船内、劣悪な衛生状態の中、食事はいつもトウモロコシの粉をお湯にといたもの等。その結果、乗船した中国人 3 万 8,935 人中、564 人が死亡した。

中国人を死の淵に追い込んだ強制労働

連行された中国人は、日本企業 135 ケ所の事業所でダム建設、石炭掘り、港湾荷役などの過酷な労働を強いられた。

新潟港での労働は、中央埠頭や臨港埠頭から主に船倉から石炭、食料を下ろしたり、汽車に荷物を積んだりする仕事だったが、冬は氷点下の気温の中、寒風が舞う港で麻袋をまとっただけの裸同然の格好で毎日 10 時間前後働かされた。

作業を少しでも怠けると日本人の監督に血が出るほど殴られた。

新潟で中国人 901 人中 159 人死亡

食料は主に小麦粉に雑穀の粉を混ぜたものが支給されていた。44 年末から小麦粉の入手が困難となったため、冷たい握り飯や粗悪な雑穀を入れたものを配給したため下痢患者が続出した。野菜不足のためビタミン A が欠乏し目の病気 胃腸疾患、栄養失調が続出した。

衣服は、雨天作業後も着替えがなく、南京袋を荒縄で体に縛り、吹雪の日でも雨具も外套もなく素足であった。このような過酷な労働、劣悪な衛生環境、栄養不良が原因で新潟では 901 人中 159 人ものが死亡、全国では 3 万 8,935 人のうち 6,830 人が死亡した。

強制労働の現場で、当時の様子を裁判官に再現して見せる中国人 原告の王俊さん



(2003 年 1 月 27 日 新潟臨港埠頭)

中国人強制連行・強制労働の加害企業一覧

◆ 35 企業中、現存する企業

現在の名称	事業場数	連行者数	死亡者数	現在の名称	事業場数	連行者数	死亡者数
岩田地崎建設	11	1741	330	日鉄鉱業	7	1793	260
鹿島建設	5	1888	539	DOWA ホールディングス	2	498	73
鉄建建設	2	371	18	古河機械金属	1	257	109
関組	5	982	194	日本冶金工業	1	200	12
飛島建設	3	584	40	宇部興産	1	291	98
大成建設	1	299	23	三菱マテリアル	9	2709	468
西松建設	1	360	29	三井鉱山	10	5517	1072
熊谷組	7	1705	187	三井造船	1	133	1
住友金属鉱山	3	1194	272	IHI(石川島播磨重工業)	1	490	28
住友石炭鉱業				港運業界			
新日鉄ホールディングス	3	1305	329	リンコー・新日本製鉄他	21	6099	766

心身の後遺症をかかえての故郷

1945 年 8 月 15 日の日本敗戦後、中国人は帰国したが、企業は賃金も払わず、国からの謝罪や補償も何もなかった。故郷に帰ってからも、殆どの人が強制労働による身体の不調や後遺障害が残ったし、「日本に行った」というだけで、売国行為をしたと誤解され、不当な抑圧を受けてつらい日々を送った。

関連ホームページ

https://kotobank.jp/word/強制連行-829406#google_vignette

[百科事典マイペディア「強制連行」](#)
[第7回中国人強制連行・強制労働西松信濃川事件追悼式典](#)

